

# 第2部

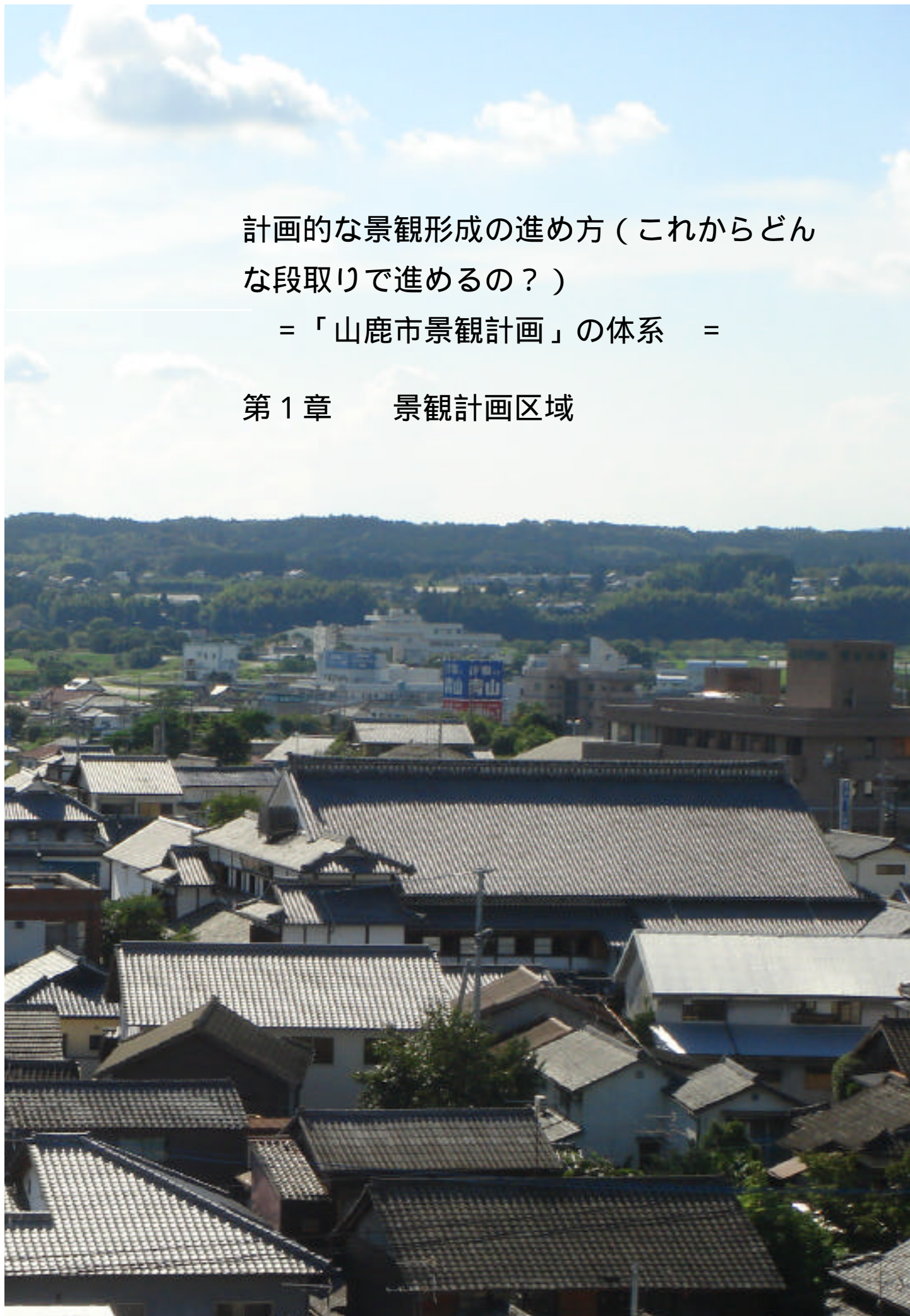
## 山鹿市景観計画の体系

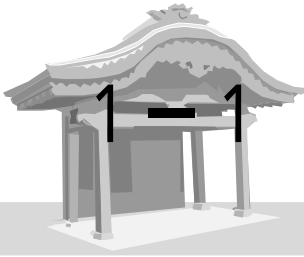


計画的な景観形成の進め方（これからどんな段取りで進めるの？）

= 「山鹿市景観計画」の体系 =

## 第1章 景観計画区域





# 景観計画区域の考え方

## 景観計画区域

### 景観計画について

景観行政団体が景観に関するまちづくりを進める上で、良好な景観を形成するために必要となる方針、行為の制限、景観上重要な建造物等の指定方針など基本的な考え方をまとめるもので、景観計画区域とはその対象となる区域を示す。

### 景観計画区域における景観形成の手法

山鹿市では、景観の形成は一部の地域だけで取り組むものではなく、市全域で取り組むべきことと考えています。また、特定の個人や団体あるいは行政の力だけでできるものではなく、市民全員の理解・協力・取組みが必要であると考えています。よって、市全域を景観計画区域（景観形成を行っていく範囲）とし、市民が行う景観形成活動を積極的に支援していくとともに、市民と行政が協働で豊かな自然景観や歴史的景観の維持・保全を進め、山鹿市独自の景観像をつくり上げていきます。

## 「景観計画区域」 = 市全域



- ・市全域で展開する市民活動（景観づくり、地域づくり）を支援する。
- ・市全域における緩やかな規制及び誘導を行い、現存する豊かな自然や歴史的景観を維持保全していく。

山鹿市全域を地形的に分析し8つのゾーンに分け（右図参照）、それぞれのゾーンの特性や課題に基づいて景観誘導方針を策定します。（詳細については第2章を参照）

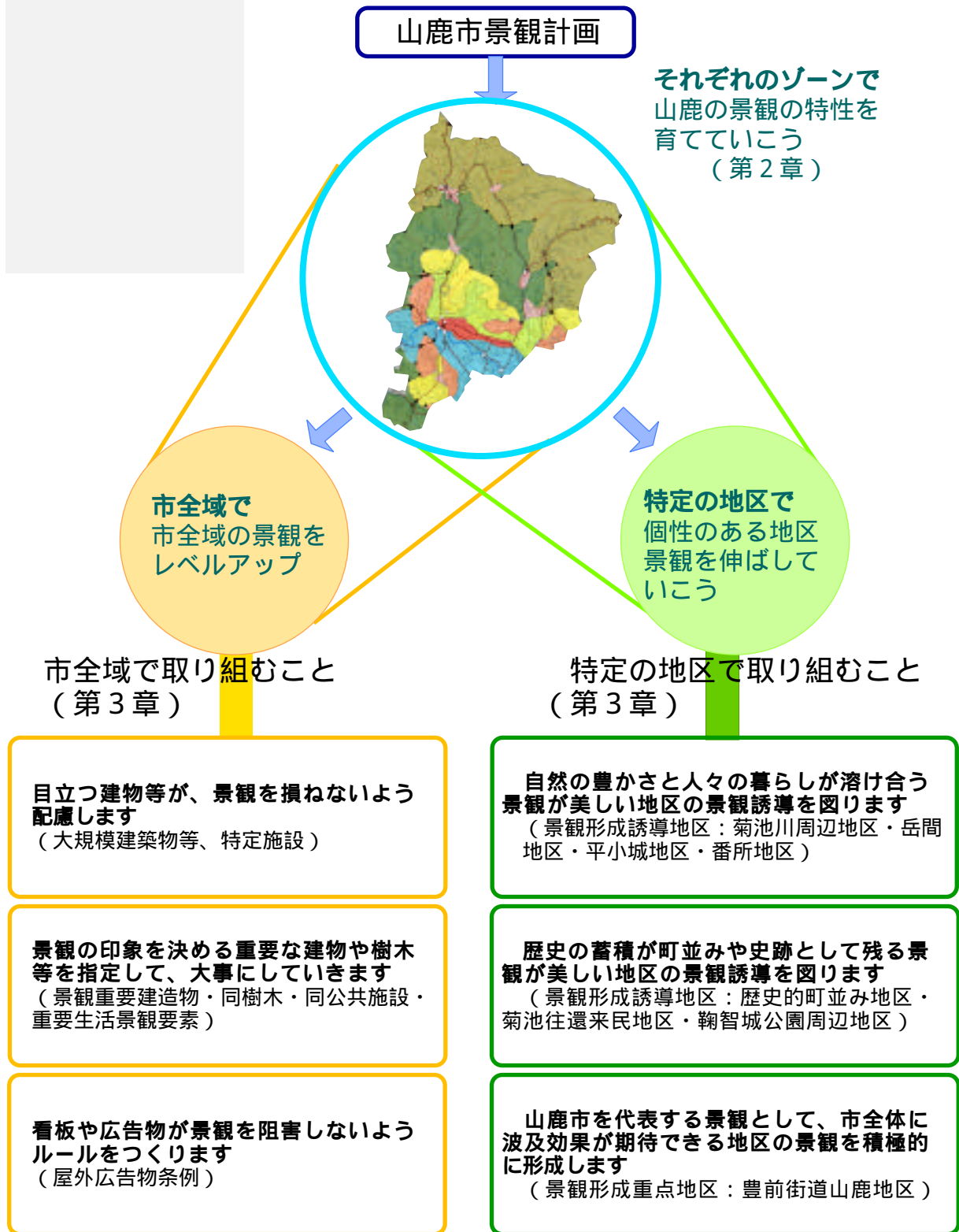
また、市全域において基準を設け、景観上の阻害要因となりやすいものについて良好な景観形成への誘導を図ることや、景観上重要な建造物や樹木等についてもその位置付けを明確にし、維持保全に努めます。（詳細については第3章を参照）

さらに、特定の範囲（例えば豊前街道沿道など）において、特に良好な景観を有すると認められる地区については、その特性をさらに伸ばしていくため独自の景観誘導方針・景観形成基準を策定して、積極的に景観向上に努めます。（詳細については第3章を参照）

以上、市全域を対象とする景観誘導と、特定の範囲に着目した景観誘導をうまく重ね合わせながら景観形成を図ることとします。

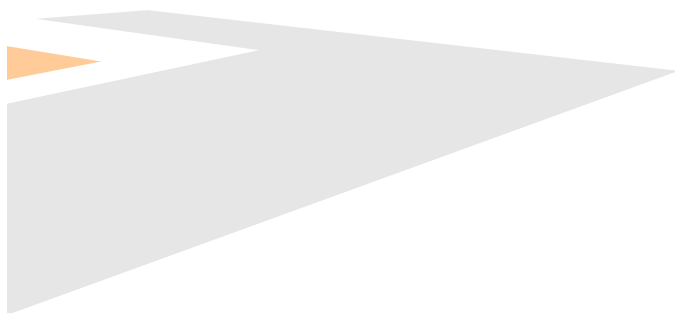
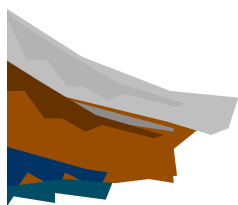
景観形成に向けた  
取り組みの概要

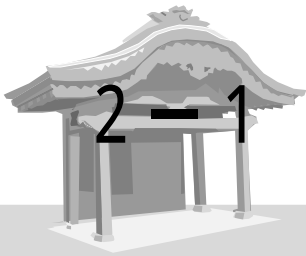
景観計画では、景観形成を図っていくために全市的に取り組むことと、市の中の特定の地区で取り組むことの両方を検討し、それらを組み合わせて山鹿市の景観を作っていくこととしています。





## 第2章 山鹿市の景観の成り立ち





## 地形の分析 ～景観のまとまり を確認する～

(1) “景観のまとまり”と“景観の境界”について  
一般的に“景観のまとまり”は、川の流路の変化(下流から見れば分岐、上流から見れば合流)を伴う「川筋」を軸に視界に入ってくる“流域景観”が基本となります(図1)。

また、“景観の境界”は、上記の“流域景観”のまとまりを規定している境界線、すなわち「尾根筋」が基本となります(図2)。

### (2) “景観の結び目”

ただし上記の「川筋」は、合流点においてその上流側に分岐して広がる景観がつながる場所であるため、川の合流点は「景観の結び目」としての性格を持ちます(図3)。

一方、「尾根筋」は複数のそれが交差する点において、それぞれの尾根筋の両側に広がる景観がつながる場所であるため、尾根の交差点も「景観の結び目」としての性格をもつこととなります。また尾根筋が下った先端は、尾根筋の両側にそれぞれに広がっていた景観が出会う場所であり、これもまた「景観の結び目」となります(図4)。

### (3) “まとまり”と“境界”の逆転

以上の、“まとまり”、“境界”、“結び目”が景観を認識する基本ですが、「まとまり」を規定していた川筋が「境界」の役割を果たしたり、「境界」を規定していた尾根筋が「まとまり」の役割を果たすことが例外的にあります。

前者の例としては、川筋が比較的急な傾斜地の縁を流れ、傾斜地側の反対側に農地や市街地が広がる場合が挙げられます。また、川幅が大きな所で、右岸と左岸で土地の利用形態が大きく異なる場合もまた、川筋は景観の「境界」として認識されます(図5)。

後者は、尾根筋が穏やかな台地状の地形の上にある場合で、この場所にはこの尾根筋の両側が一体的な土地利用となることが多く、尾根筋を含む台地全体が「まとまり」のある景観として認識されます(図6)。山鹿市の景観を特色づけているものの一つはこの台地であり、注目に値するものです。これらの考え方をもとに、地形を丹念に分析していくことにより山鹿の景観を構成している基本的な単位を明らかにし、山鹿の景観を考えるにあたっての出発点とします。

図1 川筋



図2 尾根筋

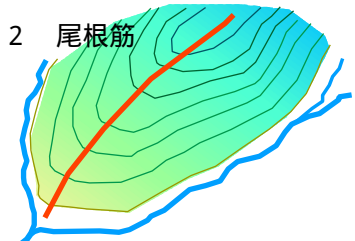


図3 景観の結び目

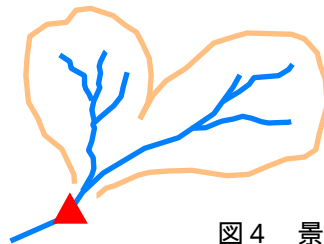


図4 景観の結び目

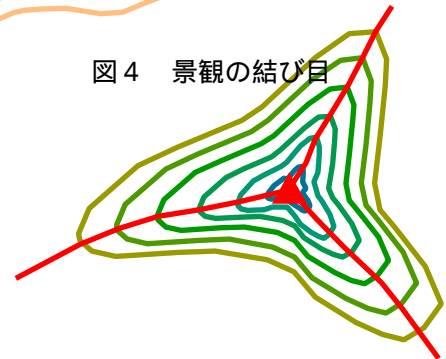


図5

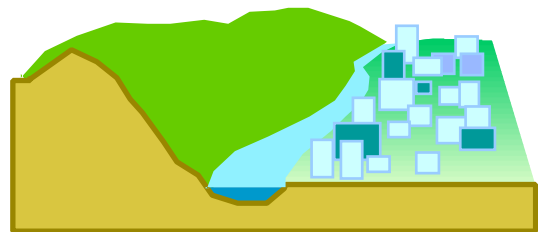
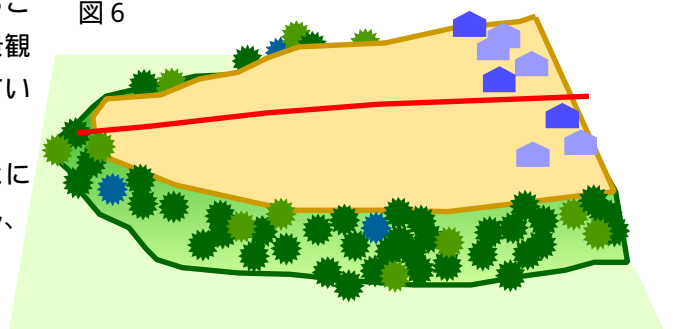
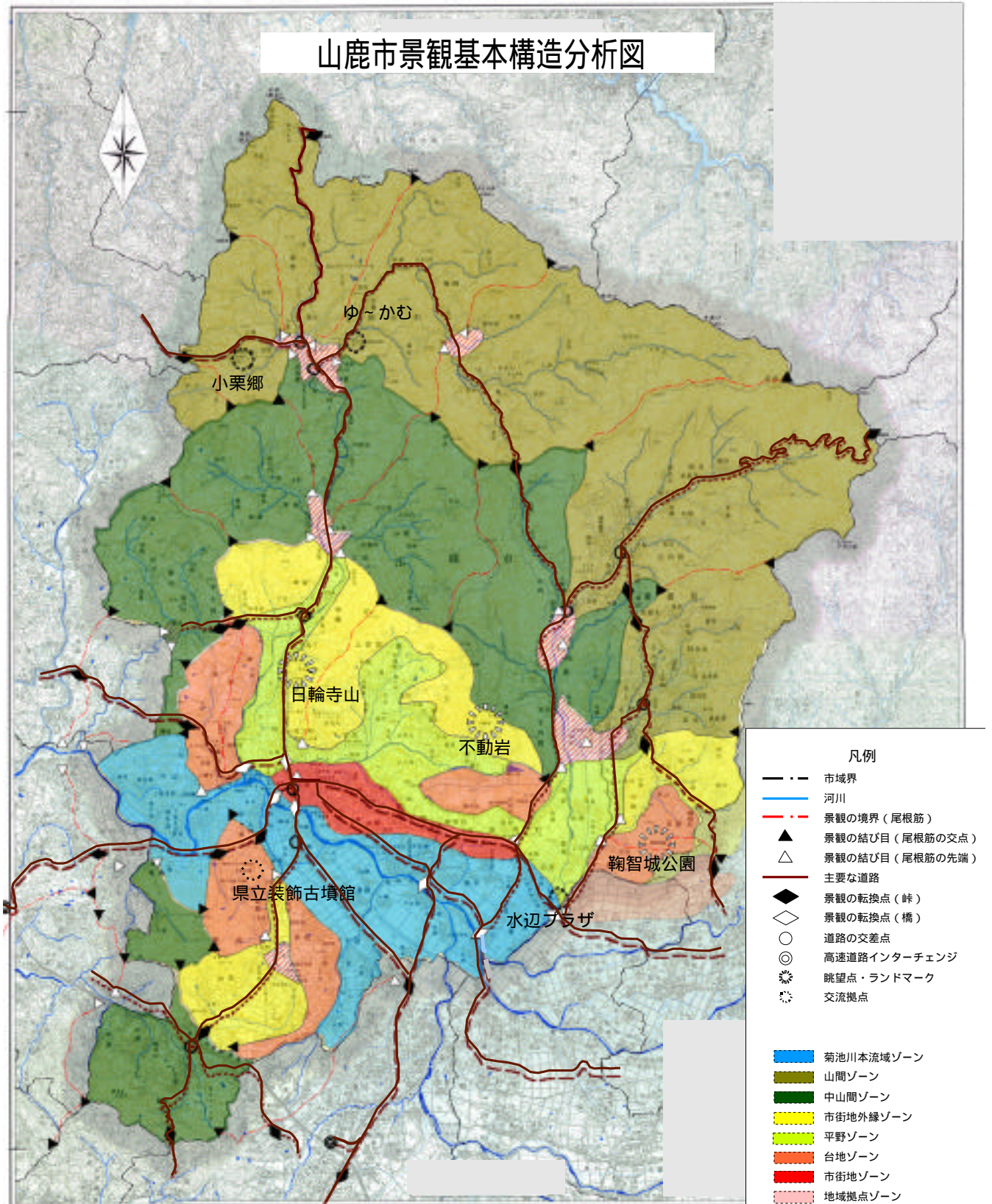


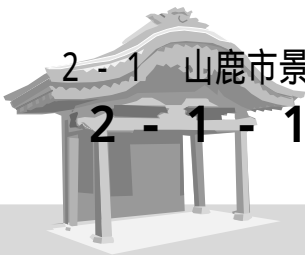
図6



山鹿市景観基本構造分析図







## 1. ゾーンの特徴



- ・本市の南部を西流する菊池川本流には、右岸側から上内田川、吉田川、岩野川、迫間川が、左岸側から合志川、千田川など多くの支流が合流しています。それぞれの合流点からは支流の上流側に向かって続く景観を見通すことができます。
- ・菊池川の南部では菊池市側から連なる伸びやかな水田と集落の組み合わせによる景観が広がりますが、北部では市街地が形成されており、南北で大きく異なる表情を見せています。



## 2. 景観上の課題

- ・橋の色彩がバラバラであり、周辺環境と調和していません。
- ・堤防沿いに放置されたゴミや不法投棄物が目立ちます。

## 3. 期待される景観シーン

- ・河川敷きの法面には、春は菜の花が岸辺を彩り、秋はススキの穂がたなびきコスモスが映えています。
- ・人々が菊池川で楽しく遊んだり眺めていたり、川と人の生活に一体感ができています。
- ・菊池川の左岸側には広大な水田の中に島状に集落があり、国道3号からはそののどかな田園風景の向こうに美しい菊池川を望むことができます。
- ・橋などの構造物、川の両側に広がる田園風景の中に存在する施設や広告物も自然景観に溶け込むようなおだやかなデザインとなっています。

4．景観形成指針

- ・山鹿市を印象づける景観の主軸として、菊池川の流れに沿って視界に入ってくる風景をよりよいものにしていきます。

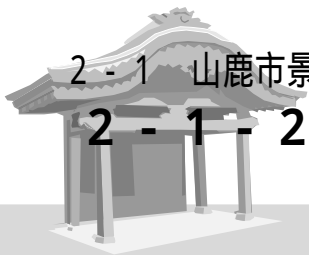
5．景観誘導方針

- ・ゴミ、不法投棄物を減少させる工夫を考えます。
- ・河川の清掃に努めます。
- ・河川の法面には四季の変化が楽しむことができるように花で彩ることに努めます。
- ・建築物等については、色彩が周囲の景観に配慮するように努めます。
- ・建築物の周囲は緑化に努めます。
- ・通行者にわかりやすいように安全標識や交通標識、案内看板等の整備に努めます。
- ・水田などは、その維持・保全に努めます。
- ・荒地の減少に努めます。
- ・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。

6．大事にする  
ポイントの例

- ・山鹿大橋からの眺望
- ・中川橋～山鹿大堰橋間の河川敷と用排水設備
- ・その他の橋及びそのたもと
- ・菊池川本流に流れ込む支流の合流点
- ・菊池川周辺地区（景観形成誘導地区）





### 1. ゾーンの特徴



- ・上内田川や木野川及び岩野川の上流域に属し、深い山林を背後にもつ小集落をひとまとまりとし景観が形成されています。
- ・集落を構成する民家の多くは等高線に沿う形で配置され、屋根の勾配もそれに沿って概ね同一の方向に傾きをもっており、集落としてのまとまりある景観を成しています。
- ・棚田が多く、その石積みや水路に架かる石橋等は、附近で採れる石材が用いられ、土地の個性を感じさせます。
- ・山の法面では果樹園、茶園、竹林などでの様々な農業活動が営まれています。



### 2. 景観上の課題

- ・手入れの行き届いていない山林が見られます。
- ・建築物等の中には鮮やかすぎる色彩を用いたものがあります。

### 3. 期待される景観シーン

- ・道路沿いを進むと、山の法面には適切に維持管理された果樹園、茶畑、棚田、竹林などの農村景観が続き、人々にのどかな印象を与えています。
- ・山沿いにある集落が斜面に平行に立ち並び、石など自然物を用いた構造物と合わさって、山間部固有の文化と歴史を見ることができます。
- ・初秋の彼岸花は黄金の稲穂の波にあでやかさを添え、晩秋の紅葉は太陽の光を透かして輝き、川面や足元を彩ります。

4. 景観形成指針

- ・小さな支流を単位とする集落及びその背景の山林をひとまとまりの景観と捉え、現在の良好な景観を後世に残していきます。

5. 景観誘導方針

- ・果樹園、茶園、棚田などは、その維持・保全に努めます。
- ・荒地の減少に努めます。
- ・山林の維持管理に努めます。
- ・樹林は伐採後に植樹を行い、山間部の景観の連続性を損なわないように努めます。
- ・石垣、石橋、石造りの水路などの構造物はその維持・保全に努めます。
- ・建築物等については、色彩が周囲の景観に調和するように努めます。
- ・建築物の周囲は緑化に努めます。
- ・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。

6. 大事にする  
ポイントの例

- ・星原集落からの眺望
- ・棚田
- ・岳間・多久集落等の茶園
- ・岳間溪谷、矢谷溪谷
- ・道の駅鹿北、ゆ〜かむ等の交流施設
- ・岳間地区（景観形成誘導地区）
- ・番所地区（景観形成誘導地区）



## 1 . ゾーンの特徴



- ・ 上内田川や岩野川の中流域、江田川の上流域に属し、水源の山を背後にもつ小支流をひとまとまりとし景観が形成されています。
- ・ 各集落にみられる神社、お堂、ほこらなどは、それに隣接する大きな樹木と一緒にランドマークとなっています。
- ・ 民家の外壁は真壁づくりの漆喰仕上げのものが多く見られます。
- ・ 道路沿いに集落が形成され、その背後に水田などの農業空間が見られます。
- ・ 地形が緩やかに傾斜しているため、民家の接道部分には玉石などによる石積みも見られます。



## 2 . 景観上の課題

- ・ 新たに整備された住宅地の建物の形態や色彩に、既存の景観と調和していないものが見られます。

## 3 . 期待される景観シーン

- ・ 道路沿いを進むと、季節の野花が山のふもとを彩り背後の里山風景に一味のアクセントを加えています。
- ・ 集落では端午の節句の鯉のぼり、七夕かざりが行われ里山の風物詩となっています。
- ・ 集落は背後の里山風景になじみ、そののどかさが人々にゆとりを与えています。
- ・ 各集落にみられる神社、お堂、ほこらなどは、人々の心休まる場所としてきちんと手入れがなされています。

4. 景観形成指針

- ・小集落を単位として水源のある山林から集落周辺の田園をひとまとまりの里山景観と捉え、現在の良好な景観を後世に残していきます。

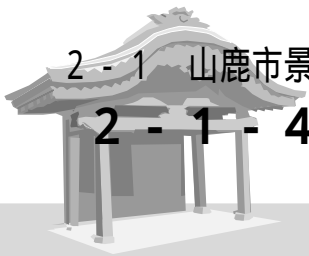
5. 景観誘導方針

- ・果樹園、茶園、水田などは、その維持・保全に努めます。
- ・荒地の減少に努めます。
- ・山林の維持管理に努めます。
- ・樹林は伐採後に植樹を行い、景観の連続性を損なわないように努めます。
- ・各集落を結ぶ道路沿線には四季を彩る花木や野草の植栽に努めます。
- ・建築物等については、色彩が周囲の景観に調和するように努めます。
- ・建築物の周囲は緑化に努めます。
- ・神社、お堂、祠（ほこら）などの維持・保全に努めます。
- ・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。

6. 大事にする  
ポイントの例

- ・各集落の神社や祠（ほこら）等
- ・集落内の石垣等
- ・集落の背後にある里山景観
- ・平山温泉
- ・平小城地区（景観形成誘導地区）

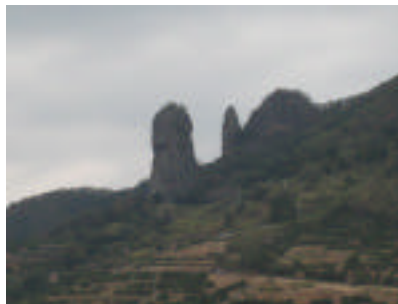




## 1. ゾーンの特徴



- ・標高の高いところから、樹林地、果樹園、畑、小規模な水田という順に土地利用がなされています。そして、平野部と接する台地沿いの部分に集落が形成されています。
- ・彦岳、日輪寺山、不動岩、米野山からは、山鹿市の中心市街地及びその南に広がる菊池川本流に沿った田園風景を遠望することができます。
- ・不動岩や日輪寺山は山自体が地域のランドマークとなっています。



## 2. 景観上の課題

- ・土砂の採取等による岩盤の露出が見られ、景観を損ねています。

## 3. 期待される景観シーン

- ・すそ野から中腹、そして山頂に至るまでの山肌にある雑木が、四季折々に変化しその色合いはまち全体に豊かな情緒をもたらします。
- ・集落は周囲の自然環境となじみ、そののどかさが人々にやすらぎを与えています。
- ・道路沿道は散策路として良好な景観が整備されており、ジョギングをする光景などが見られます。

4. 景観形成指針

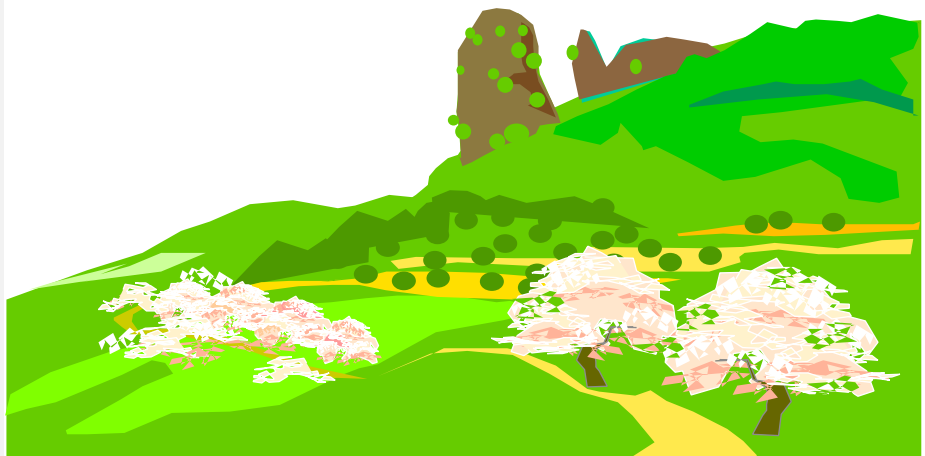
- ・市街地近郊にある眺望に優れた散策・ハイキングゾーンとなるような景観形成を行っていきます。

5. 景観誘導方針

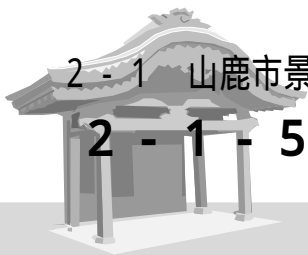
- ・果樹園、畑、水田などは、その維持・保全に努めます。
- ・荒地の減少に努めます。
- ・山林の維持管理に努めます。
- ・樹林は伐採後に植樹を行い、景観の連続性を損なわないように努めます。
- ・建築物等については、色彩が周囲の景観に調和するように努めます。
- ・建築物の周囲は緑化に努めます。
- ・道路沿いの植樹帯は維持管理に努めます。
- ・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。

6. 大事にする  
ポイントの例

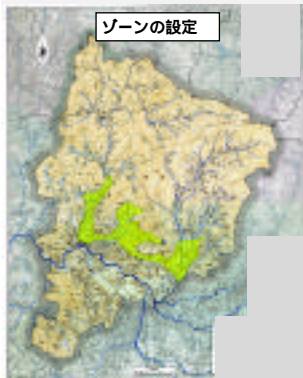
- ・日輪寺公園周辺の景観
- ・不動岩及び蒲生の池（湯の口）周辺の景観
- ・彦岳周辺の景観







### 1 . ゾーンの特徴



- ・ 上内田川や岩野川の下流域、吉田川流域に属し、水田を中心とする田園地帯となっており、川の流れに沿う形で土地利用がなされ景観を形成しています。
- ・ 周囲を台地や中山間地によって取り囲まれています。
- ・ 水田地帯には、石垣や生垣、母屋、倉などがひとまとまりとなって伝統的な集落を形成していますが、一方で大型の畜舎やバイオマスセンターなど新しい農業関連施設もできています。
- ・ 幹線道路沿いには商業施設や工場及び住宅が多く立地しています。



### 2 . 景観上の課題

- ・ 建築物や屋外広告物の色彩が農村景観に調和していません。
- ・ 耕作放棄地が見られ農村景観が損なわれているところがあります。

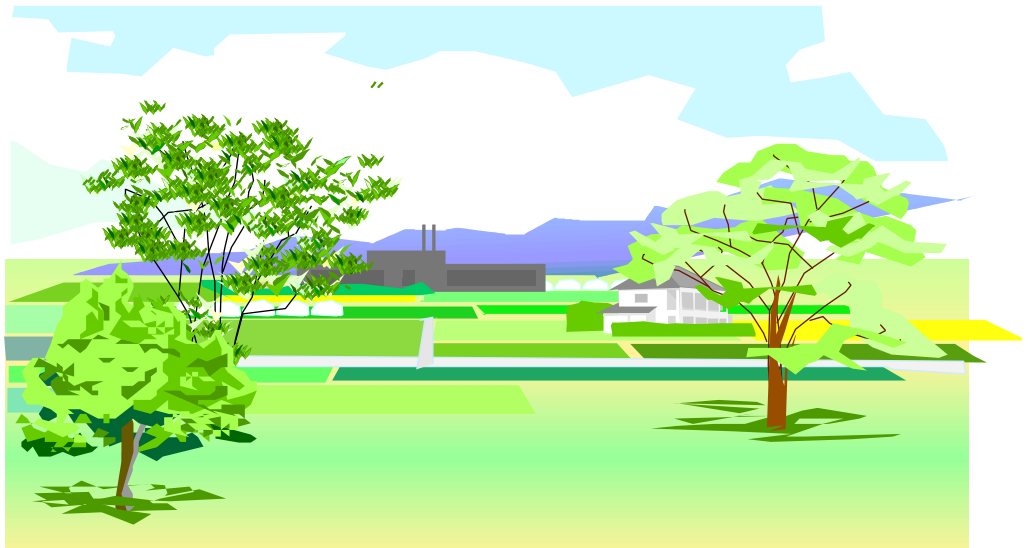
### 3 . 期待される景観シーン

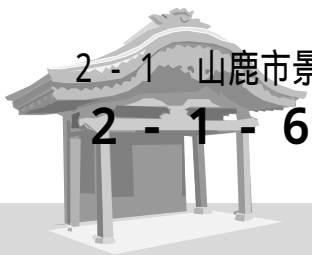
- ・ 現代的な様相を伴いながらも、水田などの農村風景や緑豊かな台地・山間との調和がとれています。

4．景観形成指針 ・山鹿市の活動を支える産業と周囲の豊かな田園風景が調和するように景観形成を行っていきます。

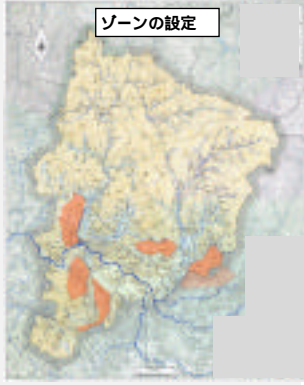
5．景観誘導方針 ・水田などは、その維持・保全に努めます。  
・荒地の減少に努めます。  
・建築物等については、色彩が周囲の景観に調和するように努めます。  
・建築物の周囲は緑化に努め、商業施設や工場については特に道路沿道、農地側の部分を緑化するように努めます。  
・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。

6．大事にするポイントの例 ・鞠智城公園へのアクセスルート沿いの景観  
・ゾーン内にある眺望点からの眺め





### 1 . ゾーンの特徴



- ・ 背後に深い山を持ち、主に農業地帯として土地利用がなされています。
- ・ 鞠智城跡、装飾古墳館、チブサン・オブサン古墳など、山鹿市の歴史を今に伝える遺構、施設等が閑静なたたずまいの中に保全・整備されており、この地域の歴史の深さを感じさせます。
- ・ 民家は落ち着いた集落のたたずまいをみせています。



### 2 . 景観上の課題

- ・ 耕作放棄地が見られ農村景観が損なわれているところがあります。
- ・ 電波中継塔が他の構造物と比べ周囲の景観から突出した印象を与えています。

### 3 . 期待される景観シーン

- ・ 現代から古代の世界へタイムスリップしたかのような錯覚を覚えるような景観が広がっています。
- ・ 緑豊かな自然環境と調和した集落が点在し、歴史的な情緒あふれる空間となっています。

4．景観形成指針

- ・山鹿市の最も古い歴史を伝える場所として、台地全体を保全するとともに、昔ながらの農村景観を残していきます。

5．景観誘導方針

- ・農地の維持・保全に努めます。
- ・荒地の減少に努めます。
- ・歴史的景観の保全に努めます。
- ・建築物等については、色彩が周囲の景観に調和するように努めます。
- ・建築物の周囲は緑化に努めます。
- ・歴史的遺構の案内板や説明板は、統一した様式とするように努めます。
- ・史跡に近い田は古代米を作付けするなど、古代を連想させる景観形成活動を行うように努めます。
- ・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。

6．大事にする  
ポイントの例

- ・古墳及びその周辺
- ・台地の縁の斜面緑地
- ・一本松公園、装飾古墳館等の交流施設
- ・チブサン・オブサン古墳
- ・鞠智城公園周辺地区（景観形成誘導地区）
- ・平小城地区（景観形成誘導地区）



### 1. ゾーンの特徴



- ・ 菊池川沿いに広がる田園地帯の中央部に浮かぶ緩やかな台地の上に景観が形成されています。
- ・ 国道325号を中心にして住宅地が広がりますが、沿道では店舗が数多く進出し、現代的な地方都市の景観を呈しています。
- ・ 現代的な建築物が多い中でも、豊前街道（山鹿地区）や菊池往還（来民地区）には今も数多くの歴史的建造物を見ることができます。



### 2. 景観上の課題

- ・ 幹線道路の沿道は現代的な商業施設が数多く立地し、他都市とよく似た無個性な景観を呈しています。
- ・ 中心市街地の景観は現代的なものと歴史的なものが同居しており、それぞれの中には周囲の景観との調和に欠ける部分があります。

### 3. 期待される景観シーン

- ・ 豊前街道や来民地区を散策すると、懐かしい風景が目飛び込んで来て、山鹿の歴史を感じることができます。
- ・ 山鹿市の中心部として整備された沿道はこれぞ山鹿という雰囲気がかもしだし、にぎやかながらも他の都市とは違った表情をみせています。
- ・ 良好な住環境は人々を和ませ、都市としての一面をみせる中でも山鹿市の歴史性を感じさせています。

4．景観形成指針

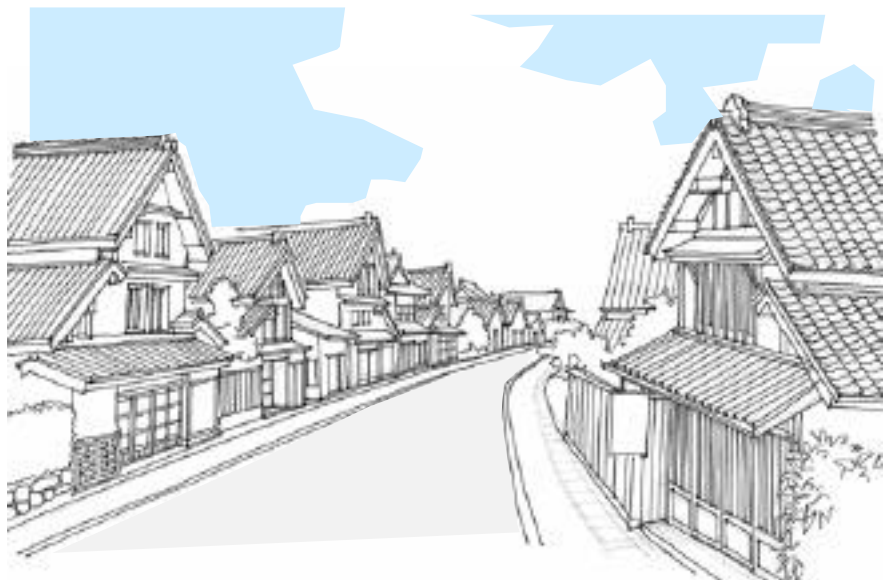
- ・快適な住環境を保全し、山鹿らしい落ち着いた都市景観を形成するとともに、歴史的な情緒ある街道については維持保全を図っていきます。

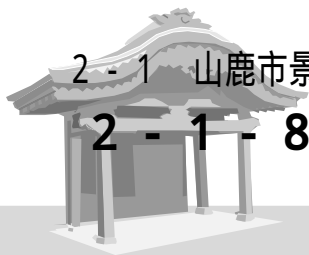
5．景観誘導方針

- ・建築物等については、色彩が周囲の景観に調和するように努めます。
- ・建築物の周囲は緑化に努めます。
- ・既存建築物で伝統的工法で建築されたものは、その維持補修に努めます。
- ・案内看板、標識等に統一感を出すように努めます。
- ・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。

6．大事にする  
ポイントの例

- ・住宅地の生垣等
- ・豊前街道とその周辺
- ・国県道沿道の景観
- ・豊前街道山鹿地区（景観形成重点地区）
- ・歴史的町並み地区（景観形成誘導地区）
- ・菊池往遷来民地区（景観形成誘導地区）





## 1. ゾーンの特徴



- ・川筋と尾根筋が合流する位置に平坦地があり、そこに集落が形成されています。市町村合併前は、各町の役場が置かれるなど、その地区の中心的な役割を担っていました。
- ・現在も公共施設や公共サービス施設が集積しています。
- ・各地を結ぶ道路網が交差したり、分岐したりする位置であり、移動する人々（特に来訪者）の印象に残りやすい場所です。



## 2. 景観上の課題

- ・道路網の結節点あるいは分岐点の位置にありますが、各種サイン等による適切な誘導ができていない場所があります。
- ・様々な色や形の建築物や屋外広告物が混在し、雑多な印象があります。

## 3. 期待される景観シーン

- ・地域の特色を活かした景観づくりがなされ、山鹿市域を回遊する際のオアシス的な役割を果たしています。
- ・案内標識等のデザインは分かり易く、地域の個性を感じさせる演出がなされています。

- 4．景観形成指針
- ・交通網の結節点として、魅力ある景観を形成していきます。
- 5．景観誘導方針
- ・建築物等については、色彩が周囲の景観に調和するように努めます。
  - ・建築物の周囲は緑化に努めます。
  - ・わかりやすい道標の整備に努め、その道路の先にある各地区の魅力を伝える演出を施すように努めます。
  - ・不要看板の撤去等に努めます。
  - ・屋外広告物の掲出は、最小限の数・大きさにするように努めます。
- 6．大事にするポイントの例
- ・主要道路の交差点附近
  - ・土地柄を良く反映した看板や道標

